

景気見通し調査(平成28年9月期)

調査結果

福井商工会議所
中小企業総合支援センター

【調査の概要】

当調査は、福井商工会議所管内の小規模事業所の短期的な景気動向を把握するため、毎年3月・6月・9月・12月の年4回実施している。

調査時期 平成28年9月12日(月)～9月16日(金)

調査方法 FAXによる送付、回収

調査対象 福井商工会議所 会員小規模事業所より 364件を抽出

(製造業・建設業・・・従業員20人以下の事業所

卸売業・小売業、商業・サービス・その他・・・従業員5人以下の事業所)

回答数 175件 (回収率48.1%)

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	合計
5名以内	10	14	19	9	12	64(39.0%)
6～10名以内	12	16	1	2	4	35(21.4%)
11名以上	15	14	11	5	20	65(39.6%)
計	37(22.6%)	44(26.8%)	31(18.9%)	16(9.7%)	36(22.0%)	164

※業種未回答11件除く

DI値とは

ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、景気動向を示す指標。「良い」「上昇」したとする企業割合から、「悪い」「下落」したとする企業割合を差し引いた値。「現在」DI値は3か月前を基準とした現在の状況、「先行」DI値は今後3か月後の状況を予測したもの。

【調査結果の概要】

業界の景況は2期ぶりの改善
 ～採算以外の項目では悪化が続く～

■業界の景況

- ・2期ぶりの改善
- ・建設業が大幅な改善

■仕入価格

- ・わずかながら2期連続の悪化
- ・建設、卸売業のみ改善

■自社の景況

- ・わずかな悪化
- ・製造、建設業を除く業界で悪化

■販売価格

- ・3期連続の悪化
- ・小売・サービス業のみ改善

■売上高(受注高)

- ・3期連続の悪化
- ・小売・サービス業で大幅な改善

■採算(収支)

- ・2期ぶりの改善
- ・小売業のみ悪化

■業界別の動向

業種	コメント	前回調査と今回の現在DI値の比較					
		業界の景況	自社の景況	売上高 (受注高)	仕入価格 (商品、資材、原材料等)	販売価格	採算 (収支)
全業種		↑	↓	↓	↓	↓	↑
製造業	+ 受注残がある	↑	↑	↓	↓	↓	↑
	+ 需要の変動がなくなった						
	- 受注減						
	- 他社との競争						
建設業	+ 耐震の物件が出てきた	↑	↑	↓	↑	↓	↑
	+ 大型物件を受注している						
	- 新築が少ない						
	- 受注に波がある						
卸売業	+ 受注予定あり	↑	↓	↓	↑	↓	↑
	- 円高の影響						
	- EU市場の停滞						
	- 仕入価格の高騰						
小売業	+ オリンピック効果	↓	↓	↑	↓	↑	↓
	- 人材確保						
サービス業	+ 受注増	↑	↓	↑	↓	↑	↑
	- 輸出不振						
	- 設備投資が少ない						
	- 市場が低迷						

※青の矢印は改善を、赤の矢印は悪化を表している。

■調査結果概要(調査項目)

	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値－現在DI値)
業界の景況	-42.5	6.7	-44.6	-2.1
製造業	-39.5	4.5	-40.0	-0.5
建設業	-30.4	22.0	-31.0	-0.6
卸売業	-72.7	5.1	-81.8	-9.1
小売業	-55.6	-8.2	-47.1	8.5
サービス業	-28.2	5.9	-30.8	-2.6
自社の景況	-31.6	-0.6	-30.3	1.3
製造業	-21.6	11.7	-26.7	-5.1
建設業	-19.1	8.4	-18.9	0.2
卸売業	-66.7	-11.1	-64.5	2.2
小売業	-38.9	-12.6	-37.5	1.4
サービス業	-23.1	-5.6	-9.7	13.4
売上高	-32.6	-3.9	-31.6	1.0
製造業	-36.8	-36.8	-34.3	2.5
建設業	-25.5	-60.3	-25.5	0.0
卸売業	-57.6	-56.1	-57.6	0.0
小売業	-33.3	31.5	-38.9	-5.6
サービス業	-15.4	79.8	-10.5	4.9
仕入価格	-18.1	-0.3	-23.1	-5.0
製造業	-13.2	-3.0	-22.2	-9.0
建設業	-17.0	0.1	-23.4	-6.4
卸売業	-9.1	5.7	-18.2	-9.1
小売業	-27.8	-1.5	-22.2	5.6
サービス業	-28.6	-2.3	-28.6	0.0
販売価格	-8.8	-4.2	-8.8	0.0
製造業	-5.3	-5.3	-2.7	2.6
建設業	-10.9	-3.6	-17.4	-6.5
卸売業	-28.1	-12.7	-25.0	3.1
小売業	0.0	10.5	0.0	0.0
サービス業	2.7	0.1	5.4	2.7
採算(収支)	-29.5	11.2	-27.5	2.0
製造業	-37.8	7.1	-25.7	12.1
建設業	-27.7	15.2	-25.5	2.2
卸売業	-39.4	12.5	-51.5	-12.1
小売業	-41.2	-7.9	-29.4	11.8
サービス業	-10.3	19.0	-10.3	0.0

※青の塗潰しは改善を、赤の塗潰しは悪化を表している。

【業界の景況】

業界全体の現在 DI 値は▲42.5 を示し、前回調査（H28.6 期）から 6.7 ポイント回復し、2 期ぶりの上昇となった。3 ヶ月後の動向を表す先行 DI 値は▲44.6 で、悪化を見込んでいる。業種別では、製造業が▲39.5、建設業が▲30.4、卸売業が▲72.7、小売業が▲55.6、サービス業が▲28.2 となっている。前回調査と比較すると、小売業以外の業界では回復し、なかでも建設業は 22.0 ポイントのプラスとなった。



業界の景況	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値-現在DI値)
全体	-42.5	6.7	-44.6	-2.1
製造業	-39.5	4.5	-40.0	-0.5
建設業	-30.4	22.0	-31.0	-0.6
卸売業	-72.7	5.1	-81.8	-9.1
小売業	-55.6	-8.2	-47.1	8.5
サービス業	-28.2	5.9	-30.8	-2.6

【自社の景況】

自社の景況は、現在 DI 値▲31.6 となり、前回調査より 0.6 ポイント下落した。先行 DI 値は▲30.3 で、現在より 1.3 ポイントの回復を見込んでいる。業種別では、製造業が▲21.6、建設業が▲19.1、卸売業が▲66.7、小売業が▲38.9、サービス業が▲23.1 を示した。先行 DI 値からは製造業以外の業界における上昇が見込まれていることが分かる。



自社の景況	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値-現在DI値)
全体	-31.6	-0.6	-30.3	1.3
製造業	-21.6	11.7	-26.7	-5.1
建設業	-19.1	8.4	-18.9	0.2
卸売業	-66.7	-11.1	-64.5	2.2
小売業	-38.9	-12.6	-37.5	1.4
サービス業	-23.1	-5.6	-9.7	13.4

【売上高(受注高)】

売上高(受注高) 状況を表す現在 DI 値は▲32.6、前回調査から 3.9 ポイントの下落となった。3 ヶ月後の先行 DI 値は、▲31.6 と現在より 1.0 ポイントの改善を予測している。業界別には、製造業が▲36.8、建設業が▲25.5、卸売業が▲57.6、小売業が▲33.3、サービス業が▲15.4 となった。前回調査と比較して、建設業が 60.3 ポイント減、卸売業が 56.1 ポイント減であった。今後 3 ヶ月後の見通しは、小売業のみ悪化する模様。



売上高(受注高)	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値-現在DI値)
全体	-32.6	-3.9	-31.6	1.0
製造業	-36.8	-36.8	-34.3	2.5
建設業	-25.5	-60.3	-25.5	0.0
卸売業	-57.6	-56.1	-57.6	0.0
小売業	-33.3	31.5	-38.9	-5.6
サービス業	-15.4	79.8	-10.5	4.9

【仕入価格】

仕入価格の現在 DI 値は▲18.1 で、前回調査から 0.3 ポイント減となり、2 期連続の悪化となった。3 ヶ月後を表す先行 DI 値は▲23.1 と、現在と比べ 5.0 ポイント減を予測している。業種別では、製造業が▲13.2、建設業が▲17.0、卸売業が▲9.1、小売業が▲27.8、サービス業が▲28.6 となった。3 ヶ月後は小売・サービス業以外の業界において低落する見通しである。



仕入価格	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値-現在DI値)
全体	-18.1	-0.3	-23.1	-5.0
製造業	-13.2	-3.0	-22.2	-9.0
建設業	-17.0	0.1	-23.4	-6.4
卸売業	-9.1	5.7	-18.2	-9.1
小売業	-27.8	-1.5	-22.2	5.6
サービス業	-28.6	-2.3	-28.6	0.0

【販売価格】

販売価格の現在 DI 値は▲8.8 となり、前回調査から 4.2 ポイントの下落であった。3 ヶ月後の先行 DI 値も▲8.8 で現在と変わらないと予測される。業種別では、製造業が▲5.3、建設業が▲10.9、卸売業が▲28.1、小売業が 0.0、サービス業が 2.7 となった。業種別の先行 DI 値については、建設業のみマイナスを見込んでいる。



販売価格	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値-現在DI値)
全体	-8.8	-4.2	-8.8	0.0
製造業	-5.3	-5.3	-2.7	2.6
建設業	-10.9	-3.6	-17.4	-6.5
卸売業	-28.1	-12.7	-25.0	3.1
小売業	0.0	10.5	0.0	0.0
サービス業	2.7	0.1	5.4	2.7

【採算(収支)】

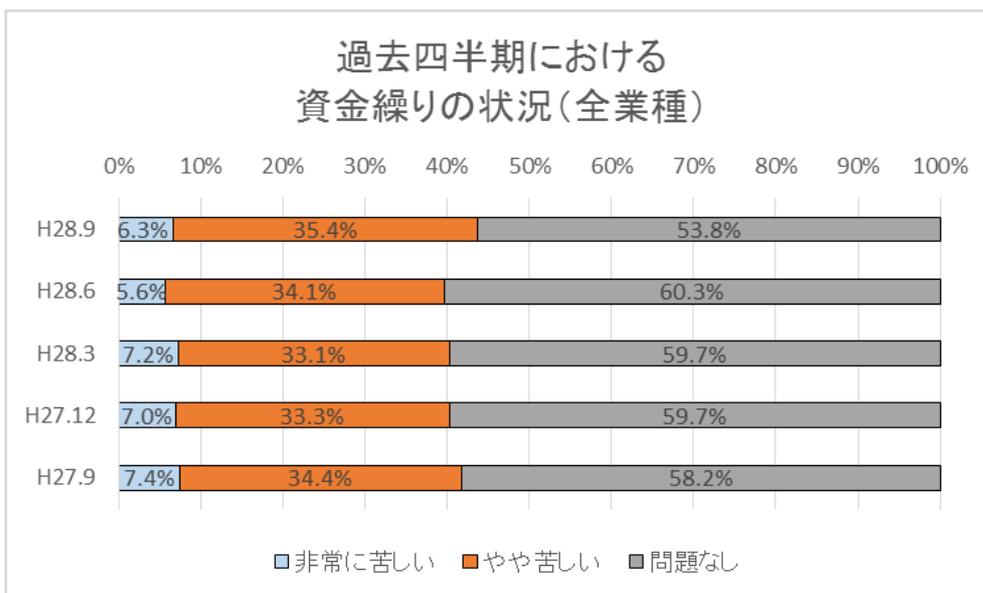
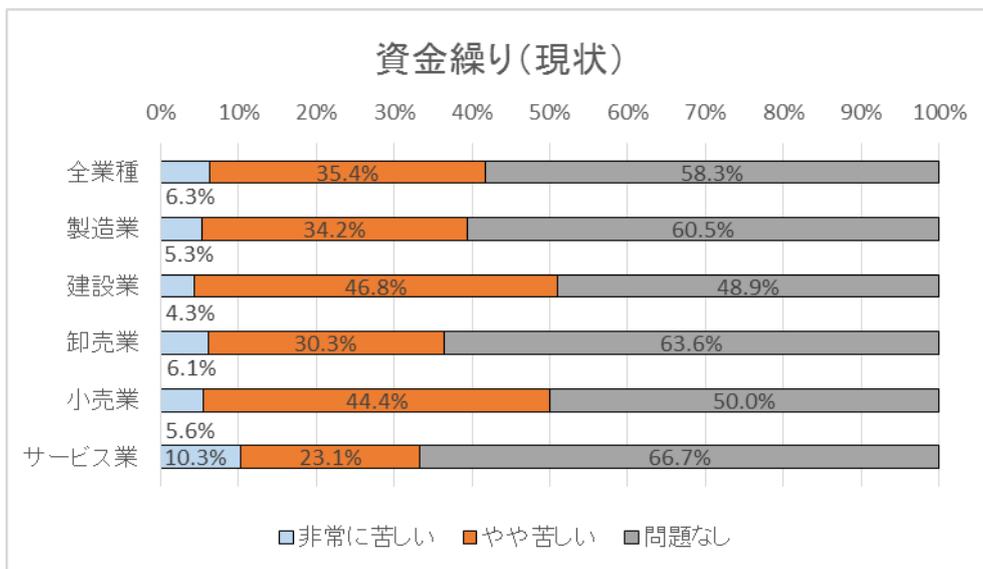
採算(収支)状況を表す現在 DI 値は▲29.5 と、前回調査から 11.2 ポイント増、2 期ぶりの改善となった。3 ヶ月後の先行 DI 値は▲27.5 で、現在と比べ 2.0 ポイントの改善を見込んでいる。業種別では、製造業が▲37.8、建設業が▲27.7、卸売業が▲39.4、小売業が▲41.2、サービス業が▲10.3 となった。3 ヶ月後の見通しは、卸売業で悪化する見込み。



採算(収支)	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値-現在DI値)
全体	-29.5	11.2	-27.5	2.0
製造業	-37.8	7.1	-25.7	12.1
建設業	-27.7	15.2	-25.5	2.2
卸売業	-39.4	12.5	-51.5	-12.1
小売業	-41.2	-7.9	-29.4	11.8
サービス業	-10.3	19.0	-10.3	0.0

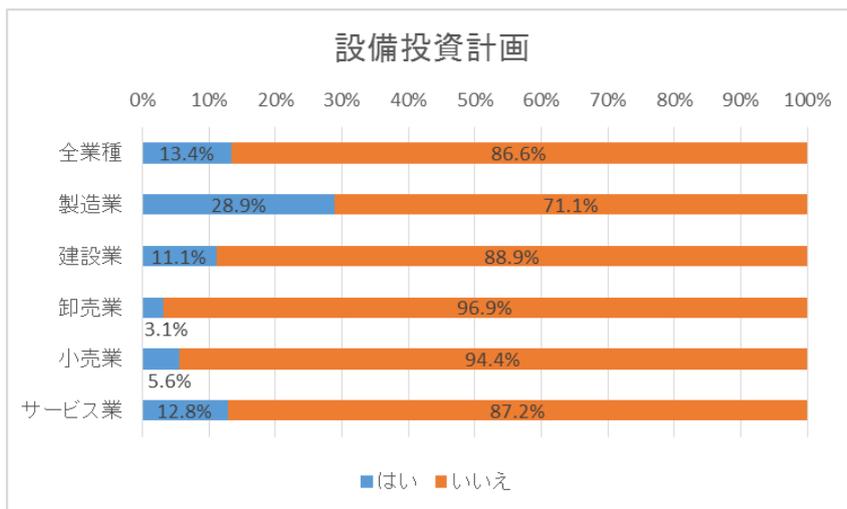
【資金繰り】

資金繰りの状況は、業界全体の約6割が「問題なし」と回答し、過去四半期の状況と比較すると、「非常に苦しい」「やや苦しい」と回答した事業所の割合が増えている。業種別では、建設業と小売業が全体より資金繰りが厳しいことが分かる。一方で、他の業界においては6割以上が「問題なし」と答えている。



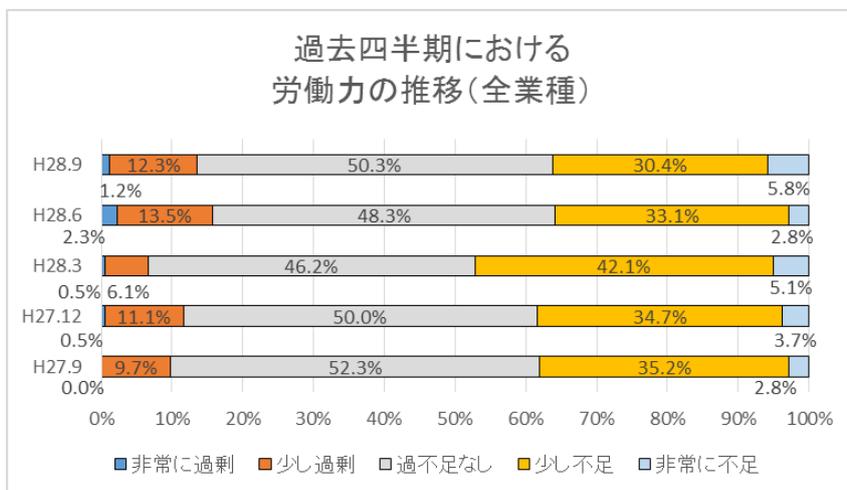
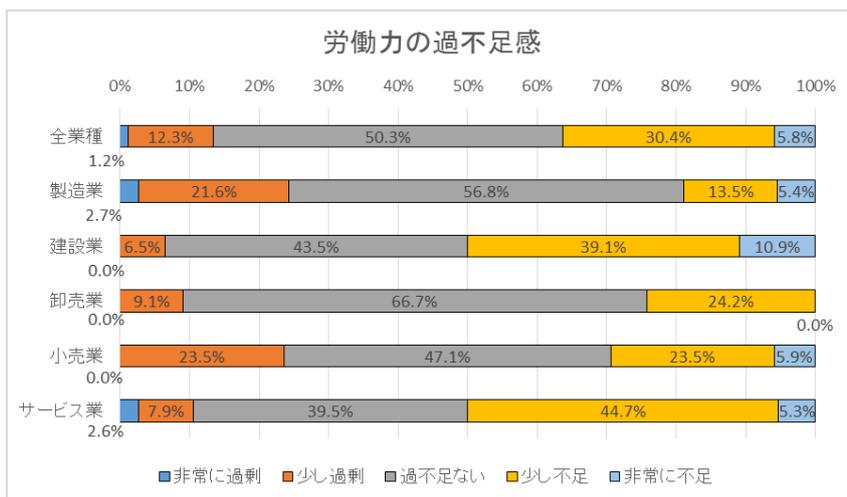
【設備投資】

今後3ヶ月以内の設備投資計画では13.4%が「ある」と回答している。業種別では製造業が全体より高い。



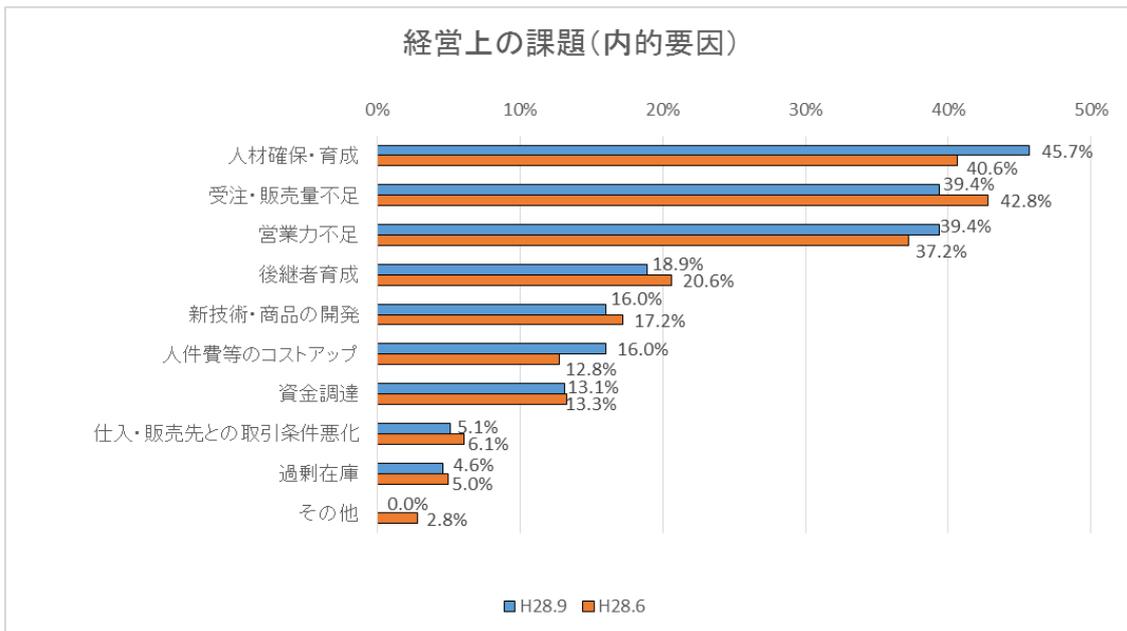
【労働力】

労働力の過不足感については、半数以上の50.3%の事業所が「過不足ない」と答えた。業種別では、建設業・サービス業が、「不足している（「少し不足」＋「非常に不足」）」と回答する割合が高く、業種によってばらつきが見られる。



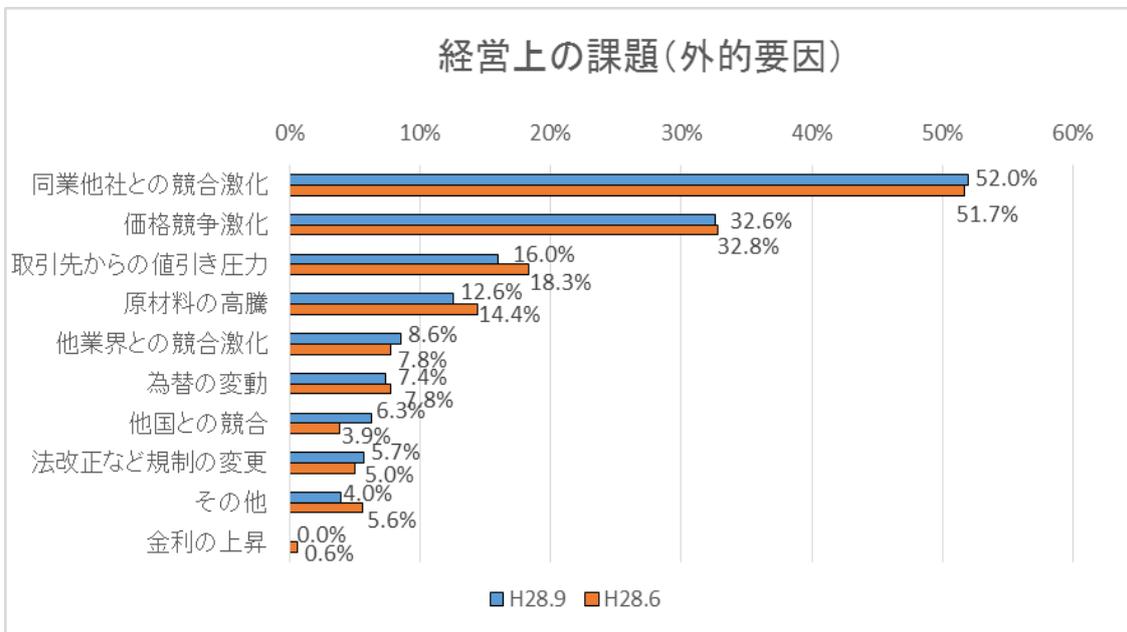
【経営課題(内的)】

経営上の課題（内的要因）については、「人材確保」を課題にしている事業所が前回調査から伸びて 45.7%となった。また、「営業力不足」「人件費等のコストアップ」を、経営上の課題にしている事業所が増えた。一方で前回調査時に最も課題にされていた「受注・販売量不足」は、減少して 39.4%となった。



【経営課題(外的)】

経営上の課題（外的要因）として、最も挙げられたのが前回調査時と同じく「同業他社との競争激化」であった。前回調査から比べれば、「取引先からの値引き圧力」が 2.3 ポイント、「原材料の高騰」が 1.8 ポイント減っている。一方で、「他業界との競争激化」が 0.8 ポイント、「他国との競合」が 2.4 ポイント増加している。

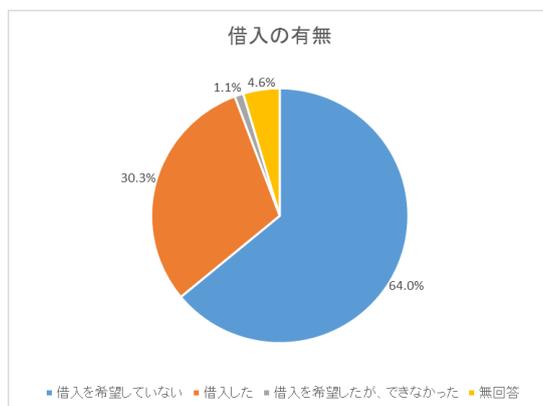


【マイナス金利の影響について】

今回の調査では、日本銀行がマイナス金利を実施してから半年以上経過したということで、マイナス金利政策による資金調達の影響について各事業所に伺った。

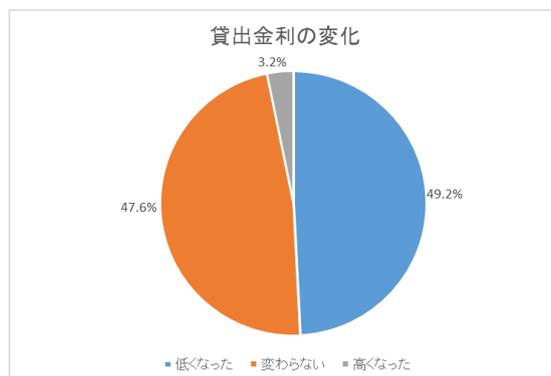
《マイナス金利が始まって以降の借入の有無》

金融機関からの借入について、「借入を希望していない」が64.0%、「借入した」が30.3%、「借入を希望したが、借入できなかった」が1.1%であった。



《金融機関の貸出金利の変化》

金融機関の貸出金利について、「低くなった」が49.2%と最も多く、「変わらない」が47.6%、「高くなった」が3.2%という結果になった。



《金融機関の貸出に対する姿勢》

事業所が感じる、金融機関の貸出姿勢については、「特に変わらない」が51.4%、「金融機関の融資姿勢が積極的になった」が33.1%、「金融機関同士の融資競争が激しくなった」が6.9%、「金融機関の融資姿勢が消極的になった」が2.3%という結果になった。

